



うすば よしひろ 議員  
薄葉 好弘

# TPP調印後の農政について

## 国県の制度・交付金及び町独自の支援

### TPP調印後の農政について

**薄葉** 昨年の大筋合意により2月4日に12カ国がTPPの調印を行い、2年以内にはTPP協定が発効されると言われておりますので、町としては、今後の農業政策として集落営農による担い手の育成や農業生産基盤の充実に含めた対策をどの様に考えているか尋ねる。

**町長** 国県の施策や制度を活用し、農業の集団化や集約化、農地の有効利用に加え、多角的な農業経営形態を目指します。強い農業をけん引するためには、認定農業者育成、認定業務を推進し、平成26年度末から43名増

### 行政区（自治会）のあり方について

加、現在では15名、新規就農者は平成27年度4名が新たに従事。平成28年度も国の支援事業、大豆や飼料用米等の新規需要米の作付による交付、町が選定している「産地交付金」があり、昨年度同様に交付し農業所得の安定を図るよう考えています。

町独自の取り組みとしては、WCS用稲の収穫機械等の導入に伴う各種団体や組織及び飼料用米作付農業者への町の上乗せ助成を考えています。いずれも、経営所得安定対策に加入することが条件、助成金額は予算の範囲内とします。

### 小学校児童の自転車通学について

**薄葉** ここ数年で町内の行政区を脱会する方や転入された方では入りたくない方が増えてきております。現在、行政区に入っていない世帯数は矢吹・中畑・三神の地区ごとどの程度いるのか、また、引越して来た方への行政区への加入については、何らかの働きかけや取り組みを行っているのか。

**町長** 住民の皆様につきましては、転入者も含め、できる限り各行政区・自治会に加入していただき、地域協働の考えで、住民同士の交流・イベント等をはじめ、ゴミ

集積や広報・回覧配布等の活動をしていただいています。今年度は「矢吹花の森構想」が動き出し、大きなうねりを挙げ広まっていけば、新たに転入された方も、行政区に加入し、協力し、活動したいと思っておりますことを期待しています。

住民の皆様や転入者の皆様に対しては、町ホームページ、町広報紙等で行政区・自治会加入の重要性を積極的にPR、転入者の皆様には、転入届出の際に加入促進チラシ配布により、区長会の協力のもと行政区・自治会加入促進に取り組みます。

